

新しい年度を迎え

財団法人ハワイ日本人学校
レインボー学園

理事会会長 中山孝志

今年も新年度がスタートいたしました。

入学された方、進級された方、皆さんいろいろな思いで新年度を迎えられていることと思います。

学生という身分から遠く離れた今でも、この季節になると、新年度が始まる時のわくわくした気持ちが蘇ってきます。新しい友達との出会い、先生との出会い、クラスがえなど新たな学年を迎える日の気持ちは、他にない特別なものです。

先日行われました卒園・卒業・修了式に出席させていただきましたが、卒業生の皆さんを代表して読まれた答辞にはレインボーに通う児童・生徒の率直な気持ちが表現され、改めてこの学園の存在の大きさを認識しました。現地校とは異なり、この学園に通う目的は必ずしも、皆さん同じではないと思いますが、当日の卒業生の皆さんの晴れやかな表情の中に、変化の激しい社会をものともせず、これから逞しく歩を進めていく姿を見る思いがしました。

レインボー学園は、すでに 33 回の卒業生を送りだしています。卒業生のお子様がレインボーに通っていらっしゃる例も少なくありません。この間、学園を取り巻く環境は大きく変化し、また教育制度も社会の変化と共に変遷しています。一方で時代が変わっても、学校という場で変わることのない本質的なものが存在すると思います。

それが何であるか、もしかしたら答は一つではないかもしれませんが、しかしながら、いつの時代も変わらない気持ち、こういったものを園児・児童・生徒の皆さんが持ち続けられるような環境を保護者、教職員、地元のコミュニティーの皆さんと共に大切にして、今年もレインボー学園の運営にあたってまいりたいと思います。